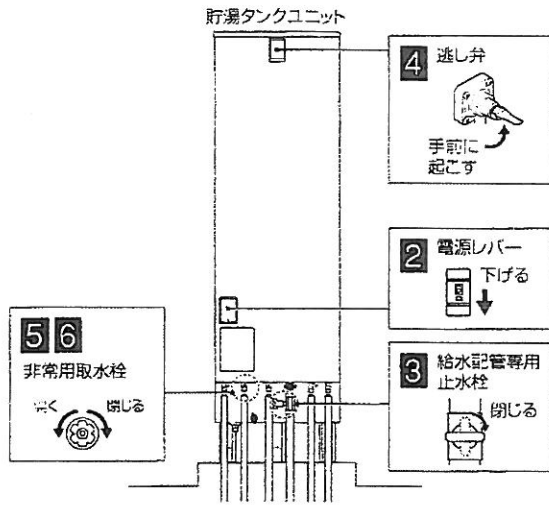


# 非常時の取水方法

タンクの水(お湯)を生活用水として利用できます。

## 警告

- 取水時は、やけどに注意する  
取水中、急に熱湯(最高90℃)が出る場合があります。



**1** 貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は脚部カバーの前面カバーを外す(外しかた: P.9)

**2** 貯湯タンクユニットの電源レバーを下げ、「切」にする

- 電気の供給を停止します。

**3** 給水配管専用止水栓を閉じる

- 貯湯タンクユニットへの給水を止めます。

**4** 貯湯タンクユニットの逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす

- タンクへ空気を取り入れます。

**5** 非常用取水栓を開く(1回転～1回転半まわす)

- タンクの水(お湯)を取り出します。  
バケツなどで受けます。

〈取水が終わったら〉

**6** 非常用取水栓を閉じ、手順1で外した脚部カバーを取り付ける

## ポイント

- 再び使用するときには、逃し弁のレバーを戻し、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、「使いはじめ(準備) P.37」を行ってください。

# 停電・断水時

## □ 停電したとき

この給湯機はメモリ機能がついていますのでお客さまが設定した「時刻」や「わき上げモード」などは記憶されています。ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。

- 停電終了後、リモコンの設定は停電前の設定に戻ります。
- わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。

## ポイント

- 正確な時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。
- 湯はり中の停電

停電時間20分以内  
自動的に湯ほりを再開します。

停電時間20分を越えたとき  
浴槽の湯を全部抜いてから、再度、ふる自動スイッチを押して湯ほりを行ってください。

## □ 断水したとき(水が濁る)

①断水したときや近くで水道工事が行われるときは、給水配管専用止水栓を閉じてください。(閉じると給湯機からのお湯が止まります。)閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯タンクユニットのストレーナー部が目詰まりし、出湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。

②断水時は蛇口の混合栓を水側にして、蛇口は開けないでください。

③工事が終了したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水配管専用止水栓を開いて使用を再開してください。

## □ 給湯を止めるとき

湯水混合栓のパッキンの交換などで、給湯機からの給湯を止めるときは、水道の元栓と給水配管専用止水栓を閉じてください。

## ポイント

- パッキン交換などの作業を行う場合、一度、蛇口を開き、お湯が出なくなったことを確認してから作業を行ってください。

ご使用の前に

ふる  
使いかた  
台所

こんなとき

故障かな